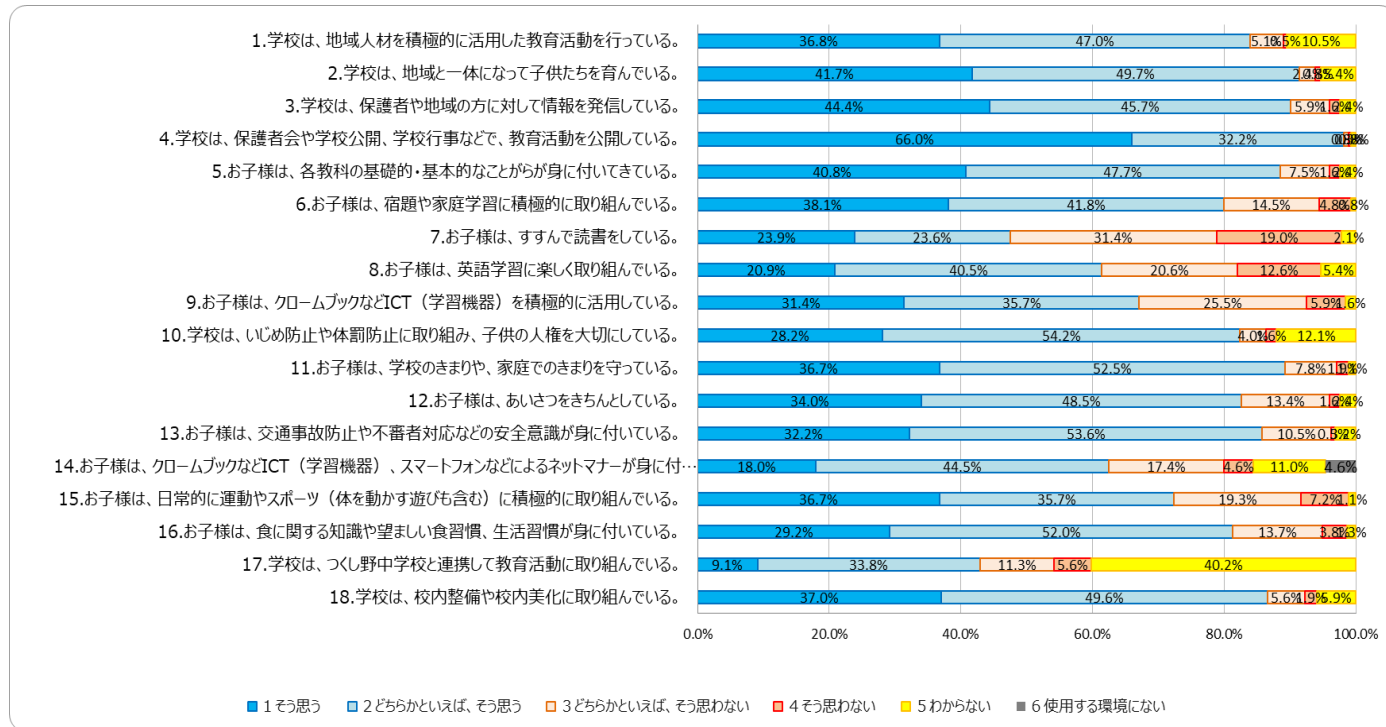


2023年度 学校評価 保護者・児童アンケート

2024年3月4日
町田市立鶴間小学校
校長 浦木 義尚

1. 保護者アンケート「本校の取組について」(集計結果)



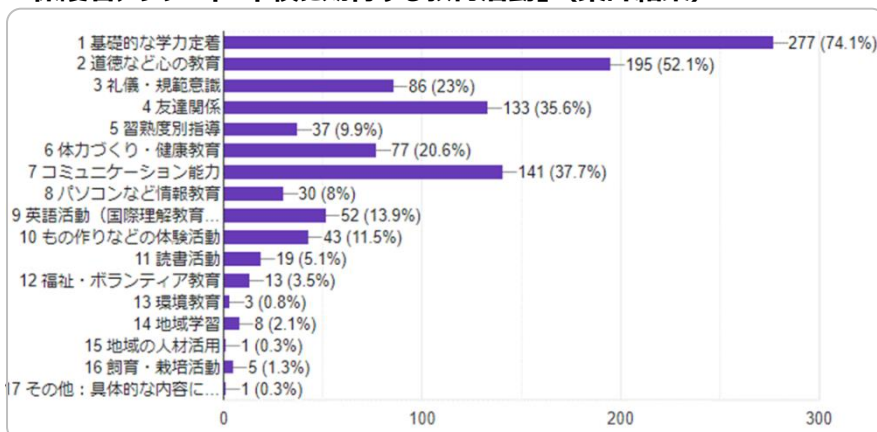
[1. 本校の取り組みについて]

肯定的な回答（A+B）の割合が85%以上の項目は、設問 2,3,4,5,11,13,18 の7項目で昨年度と同じ項目で高い評価をいただきました。本校の取り組みに、保護者の方や地域の方から多くのご協力をいただいていることがわかります。来年度も、ご理解とご協力をいただけるように学校の取り組み、子供たちの活動の様子を配信してまいります。

昨年度に続き、「7. お子様はすすんで読書をしている」の項目が47.5%と低くなっております。一方、児童アンケート「5. 進んで読書をしている。」では、79.1%と肯定的な回答が高い数字を示しており、保護者の方と児童とで差があることがわかりました。学校では、朝読書や隙間の時間などで読書をしているが、家庭では読書をする時間の確保が難しいということが考えられます。読書旬間の取り組みをはじめとした読書活動の推進を一層図っていきます。

「17. つくし野中との連携」については、「わからない」が40.2%と割合が高くなっております。今年度は、本校でアフタヌーンコンサートとして、つくし野中の吹奏楽部が演奏を行ったり、ふれあいコンサートで、5年生と中学生が合唱・合奏を披露しあったりしました。6年生は中学校体験に行き、中学生に向けて気持ちを高めることができました。また、つくし野中学校区の教員で隔年で授業を見せ合って情報交換などを行っております。来年度、このような取り組みを随時発信していけるよう努めてまいります。

2. 保護者アンケート「本校に期待する教育活動」(集計結果)



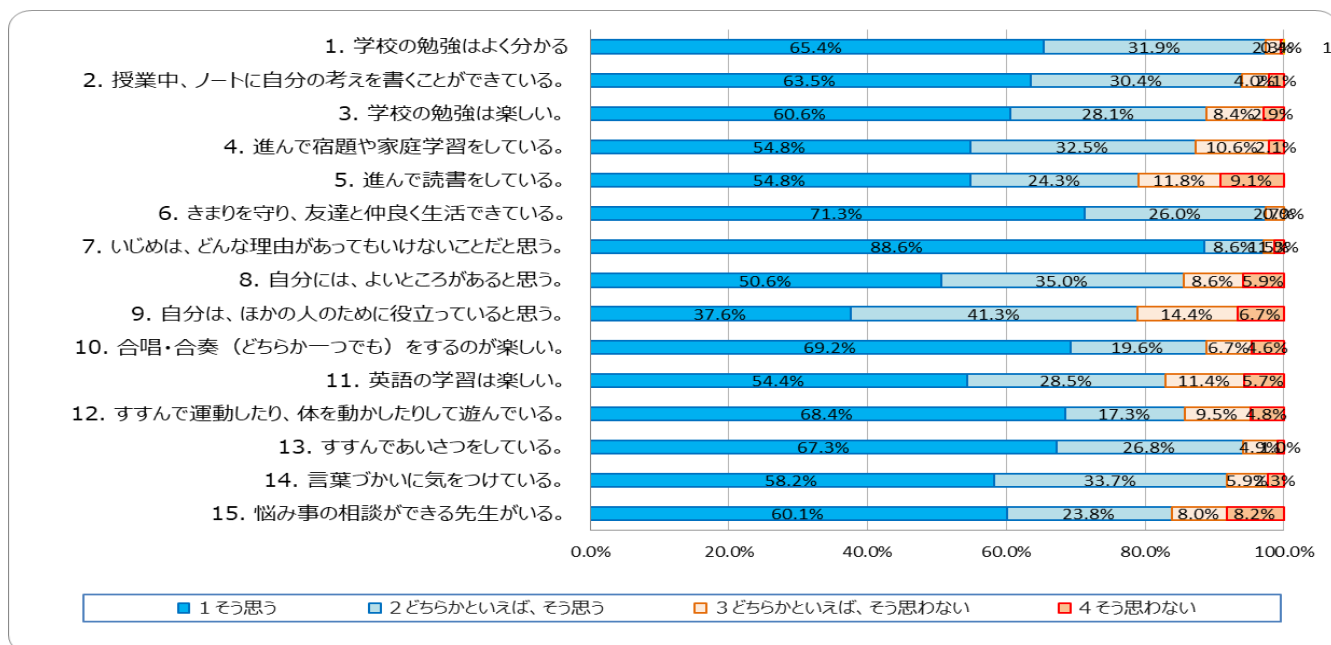
[2. 本校に期待する教育活動について]

「基礎的な学力の定着」では、読み・書き・計算といわれるようにすべての学習である基礎の定着を図り、他教科の基礎も身につけられるような教育活動に取り組みます。また、授業の中で、小集団での話し合い活動を意図的に取り入れることで、コミュニケーション能力を向上させていきます。

3. 保護者アンケートのコメント欄へのご意見、感想より

- ・教員の指導の仕方について厳しすぎて萎縮してしまう児童がいるというご意見をいただきました。教職員自らの言葉遣い、語気の強さなどを振り返り、児童の人権に配慮した言動に気を付けるように指導してまいります。
- ・学校に問い合わせをしたくても、なかなか時間が合わずに連絡ができません。メールなどでも問い合わせができるようになるとうい意見をいただきました。働き方改革の一環として、夕方5時ごろに留守番電話にさせていただきます。連絡帳にてご都合のよい時間を教えていただくと連絡が取りやすくなります。また、TETORUの本来の機能ではありませんが、緊急の連絡で電話が難しい場合はTETORUにその旨をご記入いただきますようお願いいたします。
- ・クロームブック（ICT）の活用を増やしてほしいというご意見をいただきました。単元や学習内容に応じて、クロームブックでの学習、紙ベースでの学習、どちらが効果的か検討して授業を行っております。今後も効果的な活用方法を考え、取り入れてまいります。
- ・学校の不審者侵入対策についてのご質問をいただきました。現状の設備で、常時正門を施錠すると来校者の対応で業務に支障をきたすため、防犯カメラにて極力来校者を把握するようにしています。設備の更新を市に要望中です。
- ・学級などの情報発信については、TETORU等を活用し、教員の負担を考慮しながら必要十分な発信心がけてまいります。

4. 児童アンケート（集計結果）



〔児童アンケートについて〕

どの項目も肯定的な回答の割合が高い結果となりました。来年度も子供たちが楽しみながらも学力が向上できるよう、教材の研究を行ったり、学年間で情報を共有したりするなどの取り組みを行い、今回の結果の維持や向上を目指してまいります。

一方で割合が高いながらも昨年度より数値が下がった項目があります。「8.自分には、よいところがあると思う。」「9.自分は、ほかの人のために役立っていると思う。」の項目です。自己肯定感を高めていくために人とのかわりが大切となります。学級での係や当番活動、学年や学校で取り組む行事などを通して、子供たちが自主的に活躍できるようにしていきます。自己を振り返ったり、友達同士認め合ったりする場を設定するだけでなく、教師からのアドバイスや評価などを行ってまいります。